

事務事業評価表(既存事業)

コード 13-2-9	事務事業名 スポーツ施設の改修	所管部課 生涯学習部スポーツ振興課
---------------	--------------------	----------------------

事務事業の概要	事務事業の目的 既存のスポーツ施設を利用者が安全・快適に利用出来るように、計画的に緊急性の高い施設から改修を実施する。	総合計画上の位置づけ (政策)創造性の育つまちづくり (施策)スポーツ・レクリエーション活動の振興(創3-3) (主要施策)スポーツ施設の整備
	実施内容、実施方法 既存のスポーツ施設を維持管理していくため、計画的に緊急性の高い施設から改修を実施する。	根拠法令等 スポーツ振興法
	事業開始時期 平成 16 年度	実施形態 <input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> その他()

評価指標の設定	活動指標名 改修件数	活動指標の考え方(定義) 各年度にスポーツ施設改修をする件数
	成果指標名 改修実施率	成果指標の考え方(定義) 年度内におけるスポーツ施設の改修実施率

		単位	14年度	15年度	16年度	17年度
事務事業データ	事業費(A)		0	0	56,993	26,357
	国庫支出金	千円				
	都支出金					
	地方債					
	その他					
	一般財源				56,993	26,357
	所要人員(B)	人			0.80	0.80
	人件費(C)=平均給与×(B)	千円	0	0	6,662	6,662
	総コスト(D)=(A)+(C)	千円	0	0	63,655.40	33,019.40
	単位当たりコスト (E)=(D)/ (改修件数)	千円	0	0	4,546.81	
歳入	千円					
活動指標	目標値	件数			14	7
	実績値	件数			14	
活動指標	目標値					
	実績値					
成果指標	目標値	%			100	100
	実績値	%			100	
成果指標	目標値					
	実績値					

事業環境	市民・関連団体等の意見 (アンケート結果など)	
	国・都・他市・民間等 における類似事業	
	運営上の制約条件・ 外部要因等	

コード 13-2-9	事務事業名 スポーツ施設の改修	所管部課 生涯学習部スポーツ振興課
---------------	--------------------	----------------------

事業所管部評価	項目	評価結果	判断理由、説明等
	実績	<input type="checkbox"/> 極めて良好 <input checked="" type="checkbox"/> 良好 <input type="checkbox"/> 不十分 <input type="checkbox"/> 極めて不十分	計画的に緊急度が高い施設から順次行われることで、利用者に対する利便性を十分考慮している。
	必要性	<input type="checkbox"/> 増大 <input checked="" type="checkbox"/> 変化なし <input type="checkbox"/> 減少、一部なし <input type="checkbox"/> かなり減少	スポーツセンター及び総合体育館も経過年数を考慮し、定期的な維持管理を継続していく必要がある。
	効率性	<input type="checkbox"/> 大きく改善 <input checked="" type="checkbox"/> 問題なし <input type="checkbox"/> 問題あり <input type="checkbox"/> 抜本的な問題あり	改修においては必要かつ最小限の財政負担で行われるように改修計画を実施している。
	公平性	<input type="checkbox"/> より充実 <input checked="" type="checkbox"/> 問題なし <input type="checkbox"/> 問題あり <input type="checkbox"/> 抜本的な問題あり	利用率が高い施設ほど改修の要望も高く、利用率も高く改修の必要性もある。
	総合評価	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続実施 <input type="checkbox"/> 改善・見直し <input type="checkbox"/> 抜本的見直し <input type="checkbox"/> 廃止・休止	限られたスポーツ施設を有効かつ継続的に使用するために、計画的な改修を実施していくことは重要である。

17年度における改善点	計画的に改修を行っているが、予測できない緊急度の高い改修が発生してしまう恐れがある。計画的維持管理の充実が重要である。
-------------	---

行革本部評価	<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 継続実施 <input type="checkbox"/> 改善・見直し <input type="checkbox"/> 抜本的見直し <input type="checkbox"/> 廃止・休止
--------	--

評価の視点

実績：十分な成果をあげているか。必要以上のサービスにより、経費が過大となっていないか。など

必要性：国・都・民間での実施状況に鑑み、市が実施すべき事業といえるか。社会経済状況の変化を踏まえて実施しているか。廃止した場合に大きなデメリットは生じるか。など

効率性：限られた財源を有効に活用しているか。現在の実施方法が最も効率的な方法といえるか。など

公平性：サービス対象に問題はないか。利用者の利便性に配慮しているか。受益者負担の水準は妥当か。など

総合評価：各項目の評価及び類似団体等とのサービス水準の比較を踏まえた、今後の事業のあり方・方向性。

拡充：ニーズの増大に対応して、事業を更に強化する必要があるもの。

継続実施：現状水準で事業を継続していくもの。給付対象者の自然増減に伴いコストが増減する場合を含む。

改善・見直し：現在の仕組みを前提としつつ、実施方法の見直しなどにより改善を図るべきもの。

抜本的見直し：事業の委託化や一部廃止など、事業の仕組みを含めた根本的な見直しが必要なもの。

廃止・休止：事業を休止又は廃止するもの。単年度事業など、終了が確定しているものを含む。